

令和5年度 第3回 裾野市中小企業等振興推進会議 議事録

日時 令和6年3月8日(金)

10:00~11:00

会場 裾野市役所4階 402会議室

出席委員:7名(土屋浩三、中川好大、堀口綾子、荻島昭章、近藤眞臣、岩崎健司、福澤義明)

欠席委員:5名(渡邊昌志、西島隆彦、石黒貴正、室伏ゆり江、和田智之)

議長:土屋浩三委員

<配布資料>

別添のとおり

<会議内容>

1. 開会

2. 議長挨拶

・1月9日に商工会、観光協会、当会議の連名で市長へ要望書を提出した。物価高騰等への支援について市議会の議決後に決定するとのことで、期待をしている。

・冊子について、本日の会議で忌憚のないご意見を頂戴し、内容をブラッシュアップしたい。

3. 議事

(1)「裾野市中小企業等振興施策(冊子)」の内容等について

●事務局説明

・冊子の内容について(内容は冊子のとおり)

・今後のスケジュールについて(意見反映→市HP掲載→随時更新)

●質疑

(A 委員)

・ロゴは勝手に変えて良いのか。

→(事務局)各団体に確認済。勝手に変えたわけではない。

(B 委員)

・金融機関としてメニューの提示は重要だが、内容の更新はどのような手続きになっていくのか。

→(事務局)更新の手続きは各機関がやりやすいやり方で体制を作っていきたい。

(C 委員)

・3月時点の冊子となっているが、新年度になると廃止になる事業も載っているため現時点で修正が必要と考える。冊子5ページのNo. 12とNo. 14は3月末を以て事業が終了する。

→(事務局)市HPへ公表するタイミングで見せ方を工夫していく。

(D 委員)

・どこへ相談に行ったらいいのか、相談内容に応じて制度所管機関へ案内してもらえるような総合窓口があった方が良くはないか。

→(事務局)市HPで掲載をするため、問合せは市でまずは相談を受ける。冊子の最後にその旨掲載する。

・冊子をどう活用していくのか方向性は？

→(事務局)市HPへの掲載、各関係機関へ広く情報提供を行う。個々の支援策をどう企業へ展開していくかについては、今年度は制度を持ち寄りまとめる作業となった。次年度、研究していく必要があると感じている。

・昨年度市長へ提言(要望書)をまとめた中で、情報提供、ビジネスマッチング、資金繰り等について11の施策をまとめて冊子にしたことは評価できる点だと感じる。

→(事務局)実務上、市として各機関の支援策を全て把握出来ていない課題もある。

→(E 委員)総合窓口となる各施策の担当機関への誘導は市でやっていただきたい。

(F 委員)

・長泉町商工会と長泉町役場が主催で、ワンストップ相談窓口を定期的実施している。各金融機関と商工会が参加。様々な相談に対し、1つの窓口で相談してもらい、担当が対応する取組みをしている。検討してみたいか。

→(E 委員)既存の行政相談のように、商工会と市で連携しながら次年度実施を検討していきたい。

→(C 委員)沼津市でも年4回ほど同様の事例があるため、検討していきたい。

(2)情報交換

(C 委員)

- ・次年度、異動になった。
- ・当日配布資料について説明(中小企業省力化投資補助事業)※別紙のとおり
→(G 委員)例えば、飲食店の配膳ロボットをカタログに掲載された商品を購入すれば対象になるのか。コロナ禍での売上減などの条件は？
→(C 委員)カタログに掲載された商品の購入が対象となる。コロナ禍による影響などは条件とならず、使い勝手の良い補助事業となる。

(F 委員)

- ・ITS協同組合の取組みについて、4月に人材不足を踏まえ外国人の雇用受入れ先としてセミナーの案内を配布した。

(G 委員)

- ・商工会と市のワンストップ窓口は、活用が広がるようにぜひお願いしたい。

(3)その他

(事務局)

- ・中小企業物価高騰等支援施策について経過を説明

4. 連絡事項

(事務局)

- ・委員報償は3月中の振込予定
- ・次年度、取りまとめた施策の深掘りをしていきたい。
- ・次年度、改選となるためご協力をお願いしたい。

5. 閉会